



町政の広場

鹿児島県肝属郡大根占町
発行人
大根占町長 坂元 左武郎
編集
総務課 広報統計係
印刷所 大根占印刷所
6月号 No. 113
1963年 6月

真の農民代表を選ぼう

7月15日は農業委員選挙

(告示は7月8日)

来る七月十五日は全国の市町村で農業委員の改選が行なわれます。この選挙によって新たに選出される農業委員は、今後三年間、農村の現地で

地域農業と農民の代表として活躍を願うこととなりますが、画期的な農業の転換期に際会している時期であるだけに、どのような人が農業委員となるか、またその人がどんな活動をするかは農業委員会はむろんのこと農業と農民の将来にとって影響するところ甚大なるものがあると思われま

われま。そのいみで今回の農業委員選挙はまことに重要と考えます。

農業委員会の性格

農業委員会は、市町村における行政機関であるが、市町村長とは独立した執行機関であって、市町村長の補助機関ではありません。また、会議の行政機関という特徴があります。農民の代表機関という性格はその本質で、このような性格から、その組織と運営について、いくつかの特徴があげられます。

第一に農業委員会は、選挙によって選ばれた委員を中心としている。そして一反歩(北海道三反歩)以上の農地に

ついて耕作の業務を営むものは、原則として選挙権を有します。また、この農業委員会の選挙による委員の選挙については、公職選挙法の諸規定が、大幅に準用されています

第二に農業委員会に農業団体および第三者的な立場にあり、農業委員会の所掌業務に学識経験を有するものの意見を反映させるため、市町村長の選任による委員をおいてい

ます。地区内の農協、共済の組合ごとの推せんによる理事各一名、市町村議会の推せんによるものであります。

大根占町の 選挙による 定数	有権者
10人	男 二、〇七〇人
	女 二、二五四人
	計 四、三二四人

農業委員の選挙権

被選挙権

一、本町に住所を有する者であること。

二、年令が満二十才以上であること。

三、① 一反歩以上の農地に
ついて耕作の業務を
営む者であること。

② 右の者の同居の親族
またはその配偶者であ
つて、年間おおむね
九十日以上耕作に
従事して、農業
委員会で認められたもの
であること。

ただし、右の要件を具備している者であっても、つぎに掲げる者は、委員の選挙権、被選挙権を有しない。

(1) 禁治産者
(2) 禁コ以上の刑に処せられその執行を終るまでの者

(3) 禁コ以上の刑に処せられその執行を受けることがなくなるまでの者

(4) 選挙犯罪による選挙権被選挙権の欠格者

◎ 投票所

大根占小学校

神 川小学校

池 田小学校

宿利原小学校

◎ 投票時間

午前七時から

午後六時まで

◎ 開票日時、場所

七月十五日午後九時

から大根占小学校講堂の予定

◎ 農業委員選挙については補充名簿は調製しません。

◎ 告示は七月八日

農業委員会委員選挙による告示と同時に

立候補者の受付を行います

たしますが、受付は午前八時三十分から午後五時までとなつて

います

◎ 立候補締切

七月十一日

(つづり保存しましょう)

大根占町人口の「うつりかわり」

(毎年10月1日現在調)

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
大正9年 国勢調査	2,160	10,326	5,199	5,127
大正14年 国勢調査	2,174	10,267	5,140	5,127
昭和5年 国勢調査	2,201	10,935	5,439	5,496
昭和10年 国勢調査	2,298	11,456	5,671	5,785
昭和15年 国勢調査	2,309	11,872	5,845	6,027
昭和20年 人口調査	2,433	13,095	5,899	7,196
昭和22年 臨時調査	2,802	14,064	6,730	7,334
昭和25年 国勢調査	2,918	14,721	7,132	7,589
昭和30年 国勢調査	3,063	14,949	7,295	7,654
昭和35年 国勢調査	3,277	14,481	6,952	7,529
昭和36年 推計人口	3,237	14,269	6,785	7,484
昭和37年 推計人口	3,209	13,696	6,436	7,260
昭和38年 (5月1日) 推計人口	3,189	13,397	6,283	7,114

「ゆすれていない大根占人」

町社教合同会

町教委では、去る五月二十

七日第一回社教関係者の合同

協議会を開き、関係者二十名

が参加して

1、昭和三十八年度町社会教

育計画の検討

策定

3、本町社会教育の振興策に

ついて協議した

その結果

1、青年、婦人学級と併せて

3、大根占の人はゆすれてい

ない。相互研修の強化、

校区毎に男子成人学級を

開設、男子成人の意識構

造の改善とたくましい、

フロンティア精神(積極

的精神)の高揚を図る

2、部落公民館を中心とする

組織の確立をはかり総合

社会教育の強力な推進を

期する。

4、「時間尊重」は教養人の

パロメーター。町民奉げ

て「大根占時間の追放」

に立上らねばならない、

等大変貴重な意見が出さ

れた。

税金は期日までに必ず納めましょう！

去る五月二十一日ホテル竹

屋に部落婦人会幹部約一〇

名が参加して、本年度第一回

の幹部研修会を開いた。

研修は極めて充実した内容に

終了したが、分科会での主な

意見は次の通り

◆ 婦人会運営について

1、例会は必ず「毎

月一回以上」開

き、身近かな体

験を出して話あ

いを行う。

2、規約のない部落

が多い。

先づ規約を作り

行事計画、予算

をたて、合理的

な運営に切りか

える。

3、婦人会に金がな

いと必ず行きづ

まる。財政を豊かにする

創意工夫をしよう。

4、役員だけに迷惑かけない

で班別、グループ別に

責任を分かち合っ、民主

的な会運営を進めよう。

等々熱心な討議が行なわれた

「必ず例会を開き話あいを」

… 町婦人幹部研修会で …

よう。

◆ 学習活動について

1、グループを作り、身近か

な問題から学習を始める

2、お互いの知識や

経験を話しあい

で深めよう。

3、講話やレクリエ

ーションも適宜

取り入れよう。

◆ 生活改善に

ついて

1、朝十時のお茶を

廃止しよう。

働くときうんと

働き栄養の攝取

農休日の完全実

施によって労働

を合理化しよう

2、お産後の派手な名付祝い

は産婦にとって有難迷惑

ごく内輪な祝いとどめ

たい。

農薬危害防止

空ビンの仕末に注意を

用水路をきれいに

農業技術の進歩発展にともなう、ますます殺虫、殺菌剤など各種の農薬が使用されるようになりました。

この効果は非常に大きく、ここ数年来の豊作も、天候の好条件に加えて、殺虫剤の適切な使用が有力な原因の一つと認められています。こうして利用度が激しくなればなるほど、農薬による事故も多くなると、農薬は取り扱いをおろそかにしたり、使用の方法を誤る

と、とりかえしのつかない大事をひき起します。とくに子どもには注意を怠らないようにしたいものです。空ビンを見つけて遊んでいた子どもが、死亡するという例

農繁期の防犯心得

ねこの手もかりたいよう
な忙しきで、家を留守にする機会が多くなります。また、夜は、仕事の疲れでぐっすり寝込んでしまします。このようなときに、ドロボウにはいられたり、いろいろの事故がおこります。次のことに気をつけましょう。

- 一、出かけるときは、戸締りをよくする。
二、現金は盗まれやすいと

× × × × ×
三、もし、ドロボウに
はいられたら、そ
のままにして、す
ぐ警察に届ける。
四、子供さんは、あぶ
ないところで遊ば
ないように注意す
る。
五、できるだけ共同で
託児所を設ける。

大根占町防犯組合連合会から

もあります。空ビンを農道や用水路などにすてぬよう気をつけましょう。

用水路に汚物が投げこまれ

ウジ虫がいるのも気付かず、子どもたちが遊ぶのを見かけることもあります。衛生的な

面から大変なことです。そのほか木ギレや石ころを用水路に投げこんだため、水の流

れを悪くして農作業に損害を与えないとも限りません。

みんながよく気をつけ、力を合わせお互いに迷惑をかけるないようにいたしましょう。

一等に有満智子ちゃん

優良児入賞者

第三十回南日本乳児検診にもとづく本町入賞者が次のとおり決まりました。

(一) 内は保護者名

- 一等 有満智子(秀夫) 麓
二等 安水 晃(章義) 安水
" 山王和久(寿夫) 栄町
" 牧原勝郎(利秋) 協和
" 谷口洋子(三男) 栄町
" 菅崎逸郎(国治) 菅崎
入賞 下次睦子(義武) 木原
" 浜崎砂織(幸夫) 麓

会長に久米公民館長

町防犯連総会開く

町防犯組合連絡協議会では、去る六月四日単位組合長約五十名が集って総会を開き、1、昭和三十七年度決算承認、2、昭和三十八年度活動方針及び事業計画の審議など行ない、新役員の選出を行った。

役員次の通り

会長 久米 美裕
副会長 原口 伝蔵

理事 脇 秀夫
馬場口 三義
吉 元 宗太郎
徳 永 論
黒 瀬 八男
押領司 利夫
本 釜 利夫
上 野 藤夫
小 園 又雄
愛 甲 充

夏の健康を守る運動

- ◆ 疲れすぎないように休養と睡眠を十分に
- ◆ 家族そろって予防注射を
- ◆ つり合いのとれた栄養食で抵抗力をつける
- ◆ なま水、なまものはさける

ちかよるとあぶない!

六月二十四日は航空防除

～大雄関後援寄附金募集中～

大雄関の十両優勝と入幕を祝福記念するため、さきの夏場所前に「化粧まわし」を贈呈しましたので、皆様も何卒この趣旨に御賛同くださいまして、寄附金拠出にご協力ください。【目標額30万円】

受付所 大雄関後援会事務局(大根占町役場 広報係内) 各部落長

農業基本法ができてからも早一ケ年余りになりましたが、まだ実際には農業の変化はあまりありませんが、その対策の一つとして農業構造改善事業が、昨年から実施の段階に入り鹿児島県においても大崎町、知覧町、始良町などが、事業に着手しております。構造改善事業のすめ方は、一応計画地域の指定を国から受けて基本調査を綿密にやって、改善計画を樹て国や県の承認を得て実施の段階に入るのであります。本町においても、住民の七割以上を占める農家の所得を高め、くらしがよくな

る農業構造という言葉はよく聴いておられることと思いますが、農業基本法では次のように説明しております。即ち耕作している農地面積を大きくすること、耕作している土地をなるべく一ヶ所にまとめること、家畜を取り入れ又機械化をすすめる、農地の所有や異動に無理な制限をしつけないで農業を近代化していくことであるとしております。もう少しわかり易くいえば一農家当りの経営面積を大きく

をふやすことに重点を切り替えるということとは不可能ではないにしても大変なことである改革なわけですね。ただ昔と世の中が違ってきて農家の働き手が、だんだん減っています。特に若い人が減っています。それなのに大体昔と同じ方法で農業はつづけられているので、人手が足りないわけですね。雇人もなかなかいません。思

います、大体全国を平均すると二町歩から三町歩なければ都会とつりあう収入のある経営とはならないのが現状の姿でしょうが面積だけで割り切ってしまうのも無理です。何をやるかによっても差があるのは当然です。又一方少い面積を耕作している農家が全部を持ちよって共同の経営をやることも考えられるし、又経費をはぶくため共同の施設や機械を共同で購入したり、又例えば畜産だけの部分的共

億一千万円を予定して国の補助金が四千五百万円、長期融資が四千六百万円、残りの一千九百万円が農家の負担となるわけでありです。又制度上の問題については一番の基礎になる農地の移動を円滑にするという点で農地法の改正がなされ今までの農地の所有制限が緩和され又、農業を一時やめて他の町に移るときは、農協にあずける信託制度ができました。農業経営を生産組合や会社組織にする場合に農

す。しかし農地を買取るための資金は従来の自作農創設資金による融資のほかは、まだ新しい制度はできていません。その他に制度上の問題になるのは農家の相続とか、農業教育事業の充実とか農業外の職業教育、農村の工業振興などがそのままになっております。しかし、ここで忘れてはならないことは農業構造改善ということは農業を建直すあらゆる方法なり、手段を含んだ非常に巾の広いものであるということです。今政府がやろうとしている構造改善事業とはその中で政府が直接助成しようとするものだけとめたものから、政府の助成のあるものだけをやればそれで全部が改善されるというものではないということです、農業の建直しはどうしてもわれわれの手によって、なし遂げなければならないという農家の皆さんの熱意と自主的な工夫によってなし遂げられるものであるということとを充分肝に銘じなければいけないと思います。

農業構造改善とはどんなことか

して一人で耕作する面積をふやして機械の力をかりて手間を減らす、これから消費の伸びることが約束されている畜産なり果樹など各地に適した農産物を取り入れ収入も都会なみになるような経営に切り替えることが構造改善の大筋なのです。

日本農業は明治以来一農家平均大体一町歩を耕作し、米と麦を中心とした農業を続けてきたのですからここで面積

も畜舎を建てるにも金がないという制度上に無理があるというの、今の姿なのです。そこで何か根本的な改革をやらなければならぬということになります。そこで政府はどのように考えているかというのですが、それは都会とつりあいのとれた収入なり生活のできる適正な規模の農家を多く作るということです。

同経営をやることなども自立経営ができる一つの手段ともいえます。そこでこのような自立経営農家を育てるためには資金の面と現行制度上の欠陥があるわけですが、国はどのような処置を考えているかということになります。また、その一つの手段として構造改善対策事業を十ヶ年にわたって実施する制度を設けまし

た。一市町当りの事業費は平均一